

後期バロックの巨匠による宗教音楽

劇的な感情を音楽で表現する手法が発達したバロック時代は、一般的に1600年から1750年までと言われており、50年ごとに前期・中期・後期に分けて分類されることもあります。現代で演奏されるバロック時代の音楽は、熟成された技法で作曲され、華やかな後期の音楽であることがほとんどです。今回は、後世にも大きく名を残している3人の後期バロックの作曲家の宗教音楽作品を取り上げます。



ジョージ・フレデリック・ヘンデル (1685-1759)

Handel

シャンドス・アンセム8番『主に向かって喜び歌おう』HWV 253

ドイツで生まれ育ち、イタリアで学び活動し、イギリスに帰化した大きな活躍をしたオルガニスト・作曲家であるヘンデルは、オペラ『メサイア』やオペラ『セルセ』、『水上の音楽』でよく知られていますが、宗教作品も多く書いています。

イギリスに移住し始めた43歳の頃に、ヘンデルはシャンドス公爵の下で住み込みの作曲家として活動します。その際に作曲した11曲の英語による讃美歌(アンセム)は、通称シャンドス・アンセムと呼ばれています。

シャンドス公の音楽体制は決して十分ではないため、当時の一般的な編成に比べるとやや特殊な編成で作曲されています。例えばこの『主に向かって喜び歌おう』はヴィオラが使われなかったり、ソリストはソプラノとテノールの2名であったりすることからも状況がうかがい知れます。

テキストはイングランド国教会の英語による詩篇を用い、イタリア風の協奏曲の様式を連想させる緩急の序曲ではじめるなど、限られた環境でも曲を魅力的に昇華することに碎身したことが伝わってきます。



ヨハン・ゼバスティアン・バッハ (1685-1750)

Bach

カンタータ4番『キリストは死の束縛に横たわりました』BWV 4 モテット『私はあなたを離しません』BWV 1164 (Anh.159)

ヘンデルと同じ年に生まれ、生涯ドイツで活動しながらも後世の音楽に大きな影響を与えたバッハは宗教作品が多く、特に『短調ミサ』『マタイ受難曲』は今なお世界中で演奏されています。

宗教作品の中でも、教会歴に沿って歌われる教会カンタータと呼ばれる作品をバッハは約200曲と多数書き残しています。オルガニストとして徐々に頭角を現していたバッハは、ミュールハウゼンの教会オルガニストとして22歳で着任します。1年ほど滞在したその前後に、この『キリストは死の束縛に横たわりました』を作曲したと考えられています。

復活祭の礼拝のための作品で、ちょうど500年前の1524年にマルティン・ルターによって書かれたコラールを主題にしています。初期の作品であるためか、通常カンタータで組み込まれるレチタティーヴォはなく、全曲にコラールの主題が用いられるコラール・

カンタータになっています。また、ルターが考えていたキリストの受難があってこそ復活があり人類の救いがあるという考えから、短調という調性や死を想起させる半音階の技法が多用されています。

ミュールハウゼンの後にヴァイマルで宮廷オルガニストになったバッハは、「私はあなたを離しません」という創世記をテキストにしたモテットを作曲したと考えられています。このモテットはバッハの父の従兄ヨハン・クリストフの作として伝えられていましたが、近年の研究ではバッハ自身の作品である可能性が高いことがわかっています。

詳しい成立などはわかっていないものの、合唱が主体である二重合唱のモテットは途中で4部合唱になり、ソプラノがコラールを定旋律として歌うのに合わせて他のパートが力強く歌い上げるのが印象的です。



アントニオ・ルーチョ・ヴィヴァルディ (1678-1741)

Vivaldi

『マニフィカト』RV 610

イタリアで活躍したヴィヴァルディは、自身がヴァイオリンの名人だったこともあり、『四季』などの協奏曲でよく知られています。その作曲技法や様式はヘンデルやバッハにも大きな影響を与えました。

ピエタという修道院・孤児院・音楽学校で様々な役職を務めたヴィヴァルディは、宗教作品も多く書いていました。『マニフィカト』も当初はピエタのために書かれたものです。

『マニフィカト』はマリアによる神への感謝と賛美で、新約聖書のルカによる福音書で構成されています。全体が短調で書かれていますが、決して悲しい暗い音楽ではなく、賛美を劇的で格調高いものとするために短調を選択したと考えるのが自然でしょう。

ピエタでの演奏の評判がよかったためか、孤児院の少女が活躍できるよう独唱に書き換えるなど多くの版が存在しますが、今回の演奏では1730年前後に書かれた版で演奏いたします。

福岡シンフォニック合唱団
団員募集

練習日時

毎週土曜日
18:00~21:00

練習場所

中央市民センター
音楽室 他

合唱団事務局 TEL:090-2964-3139

見学ご希望の方は、
右記から、お気軽に
お問い合わせください。

